

## **な**にはともあれ、**安全な暮らしが一番**

暮らしの基本は安心して暮らすことです。その安心は、自然災害がないとか  
防犯に地域が力を入れているとかですが、それには住民の方々が関心を持つ  
て、協力していることが必要です。そのようななにげないことでの協力が  
災害の時に大きな力になってきます。

## **ら**んぼうな被害は、**人間の暮らし方にも関係あり**

自然災害は自然現象によって引き起こされるものですが、人や物が災害を  
起こしやすいようになっていると、災害の種類も規模も変わってきます。つま  
り、暮らし方とか土地の利用のしかたがより被害を大きくしているということ  
もあります。

## **む**かしの**災害でおしえられる敵への作戦**

自然災害は人間のたんじょうとともに発生して、最初のころは大きな被害に  
もならないでいたと思われま。だんだん人が増えて、そこにとどまって暮ら  
し、そのエリアがひろがると同時に、被害も多くなってきましたが、知恵やく  
ふうでさまざまな対策をして、できるだけのくふうをしてきました。

## **う**めぼれたために、**災害を大きくすることも**

大昔は、自然災害に対してはどのようにかわすのかということを考えて、

さいがい もっと おそ かんが さいがい  
災害を最も恐ろしいものと考えていました。その後、さまざまな技術が発展して  
きて、さいがい たい さいがい きもち  
きて、災害に対しておさえようという気持ちがめばえてきて、かいはつが進むよ  
うになりました。それが、ぎやく、さいがい  
うになりました。それが、逆に災害をよびこむことにもなりました。